

2018年度新卒母集団獲得アプリ誕生!

採用!
革命!

1 Dayインターンシップから始める

“就活生フォロー”レポートNo16

株式会社サーフボード

執筆 田嶋 節和

TEL 0776-52-2134 FAX 0776-52-2135

URL <https://www.surfboard.jp/>

E-mail tajima@surfboard.co.jp

就活生は何時、何処で、どんなことを知ることで 企業に関心を持つのか

新卒採用において「ターゲットとしている就活生がどのようなタイミングで何をどのように発信すれば自社に興味を持ってくれるのか」ということは採用担当者として重要なことです。今回は就活生がどのように企業について興味を持つのかをお伝えします。

1. 就活生はいつ企業に関心を持つのか

就活生が企業に関心を持つのは知人からその企業の話聞いたとき、もしくは企業の社員の話を聞いたときです。就活生も1年中企業に関心を持ってくれるわけではありません。企業への関心度が高い時期にアプローチする必要があります。就活生の関心度が高いおススメの時期を3つご紹介させていただきます。

1. 大学3年生の1～2月

一番は学内で業界研究会という名の学内説明会が開かれる時期です。学生にとってはどんな企業があるのか調べる時期であり、最も企業への関心が高い時期と言えます。この時点では業界や職種など決めていない段階のため、幅広い会社に目を向けてくれます。このタイミングで会社をアピールできると多くの学生が関心をもってくれます。

2. 大学4年生の3～5月

二番目におススメなのはナビサイトの本エントリーが解禁されてやる気のある3月から5月にかけての時期です。リクナビやマイナビには業種や職種以外にも本社所在地や従業員規模での検索軸もあります。他には「筆記試験なし」といった検索も可能です。多くの人に見られるようにナビサイトを最大限に活用しましょう!

3. 大学4年生の6～7月

三番目は有名企業の採用が一通り終わる時期です。残念ながら第一志望に落ちた学生が、ナビサイトなどで新しく業種や職種の選択肢を広げながら企業を探す時期と言えます。大手企業を優先したため「前から興味はあったけど、志望順位や日程調整の問題で受けられなかった」という学生がエントリーしてくる可能性が高いです。就活生はエントリー数を絞ってくるため内定辞退になる可能性が低いというメリットがあります。

就活生が企業に関心をもちやすい時期を3つにまとめました。それ以外にも大学3年生の9月頃はキャリアセンターがガイダンスや講座を始める時期であり、外資系が本選考を始める時期です。こういった時期も逃さず学生にアプローチできれば、企業と就活生のすれ違いは回避できると思います。

2. 就活生はどこで企業に関心を持つのか

就活生が企業に関心を持つ場所は様々です。親から話を聞いたり、友人から話を聞いたり、インターンシップで話を聞いたり…。ある学生は旅行業の資格を9月に取り、旅行業のインターンシップを探していたらたまたま「農協観光」を見つけて農協に興味を持ったというような変化球もその他多く存在します。学生や両親（特に母親）の認知度が高い企業でなければ、学生と直接出会う機会を作らなければ興味を持ってもらうことはほぼ不可能です。

大学の学内説明会に参加する、ナビ会社の合同説明会に参加する、採用支援をしている少人数制のイベントに参加する、学生団体が企画する就活イベントに参加するなどの方法で学生との接点を持ちましょう。

3.就活生は企業についてどんなことを知ることで関心を持つのか

就活生には「やりたいことがある学生」と「やりたいことがない学生」の2パターンが存在します。

「やりたいことがある学生」は自分のやりたいことが、その企業で実現できるのかどうかで判断します。判断軸としては事業内容や仕事内容、キャリアステップといった情報が材料となります。

「やりたいことがない学生」はほとんどの場合「人」を見て企業自体や仕事に関心を持ちます。「人事の人が優しかった」「社員の人が気さくに話をしてくれた」「いいところだけじゃなくて悪いところも教えてくれた」という言葉が出てくれば企業にも興味を持ちます。就活生と話した社員が学生から慕われるかどうか企業が興味を持つかどうかに関係が直接繋がります。

採用担当者を選ぶ際は採用にやりがいを感じ、学生に対して優しく大人な振る舞いができる人物を

選びましょう。もし該当する社員がいない場合は就活生と話すことに慣れた外部の採用コンサルタントに依頼をする方が安心です。

また、就活生は知ることよりも知られることに興味を持ちます。就活生と出会ったときはまずその就活生がいま何に困っているのか相談に乗ってあげましょう。

まとめ

いかがだったでしょうか。本格的な就職活動を前にした時期に企業主催や大学生主催など数多くの就活イベントが開催されますが、採用選考を抜きにして学生との交流の場に積極的に参加する採用担当者の方もいらっしゃいます。

企業側にとってはボランティアになってしまう場合が多いですが、学生と向き合える数少ない場として参加する採用担当者の方もいらっしゃいます。大事なことは就活生が企業に関心を持つためには「対面」で話す必要があることです。ぜひとも就活生と「対面」で会える機会を創ってください。新卒採用において「ターゲットとしている就活生がどのようなタイミングで何をどのように発信すれば自社に興味を持ってくれるのか」ということは採用担当者として重要なことです。今回は就活生がどのように企業について興味を持つのかをお伝えします。

PR =====

クローズド(招待型)でビジュアル SNS アプリをあなたの会社は、A/B どちらに利用しますか？

A) より密接に内定者(大学 4 年生)と会社をつなぐアプリとして

→「**内定者フォロー**」

B) より多くの就活生(大学 3 年生)と会社をつなぎ確実に母集団形成する新卒採用支援アプリとして

→「**就活生フォロー**」

このアプリは **AB2つのグループを同時にフォロー**できます。

クローズド SNS ですから、情報漏れの拡散や就活生のプライベート介入の心配がありません。

また、企業説明会、選考面接日程などの連絡・お知らせ機能や、アンケート機能なども備えており、採用担当者との円滑なコミュニケーションを支援するスマホアプリです。さらに、内々定がもらえて後、入社式、さらに新人研修期間まで継続利用が可能です。

プッシュ通知で、素早く確実に情報を伝えることができます。

就活生フォロー Chaku2(ちゃくちゃく)NEXT

詳細は→ <https://www.chaku2.jp/lp/>

運用:株式会社サーフボード

(<https://www.surfboard.jp/>)0776-52-2134 本庄